

ネギ生産の新たな取り組みが優秀賞を受賞

～第38回東北農村青年会議青森大会～

11月28日～30日の日程で南田温泉ホテルアップルランド（青森県）を会場に第38回東北農村青年会議青森大会が行われ、プロジェクト発表部門で佐々木健さん（寺田）が優秀賞を受賞しました。

この大会は、東北の農業青年が一堂に会し、日ごろの農業経営や農村生活で得た知識や技術、プロジェクト活動の成果を発表し、21世紀東北農業の意欲ある担い手としての資質向上を図ることを目的としています。

今回の受賞は、由利地域の秋冬ネギの出荷が12月下旬に終了することに着目し、市況がより高単価で推移する1～2月に合わせた出荷や販売を行うことで所得と労働の確保が図れるのではと推測し、プロジェクトに取り組んだことが認められたものです。



受賞した佐々木健さん

親子で木工細工と思い出づくり

～おやじ元気・ネットワーク支援事業～

「象潟おやじの会」による木工細工づくりが、小学1年生から6年生の親子50組が参加して行われました。自然観察などを行う金浦地域の「野の会」の協力により、間伐材や廃材、松ぼっくりなどの木の実やアケビのつるなどを使って、皆さん思い思いにオブジェや人形などを制作しました。

中には、お父さんやお母さんの方が夢中になってしまふ親子もありましたが、子どもたちは初めての木工細工づくりに「またやりたいなあ」と楽しい時間を過ごし、親子の思い出もつくられたようです。



熱中するお父さんとお母さん



おもしろい作品がたくさんできました（右）

車いす3台を寄贈

～社会福祉貢献事業の一環として～

日沿道仁賀保～象潟間の工事を施工している山科建設から、社会福祉貢献事業の一環として車いす3台が寄贈されました。

寄贈された車いすは、2台が総合福祉交流センター「スマイル」に、1台が象潟体育館に配備されることが決まっています。

スマイルを訪れた同社の3人は「今後は、工事現場周辺のゴミ収集などのボランティア活動を行い、少しでも地域に貢献したい」と語っていました。



寄贈された車いす



新春を飾る消防出初式

消防の気概を示す

～平成20年にかほ市消防出初式～

1月5日、金浦体育館でにかほ市消防出初式が行われました。式では、優良団員の表彰や鐘振りが披露され、消防関係者たちは市民の安全と財産を守る決意を新たにしていました。

消防団員の減少が懸念されている中での開催でしたが、新春にふさわしい勇壮な鐘振りは、改めて消防の気概を示しているようでした。

出初式は、約350年前の江戸時代に始まったといわれていますが、消防に対する市民の信頼と、それに応える火消しの気持ちは今も昔も変わらずと言えそうです。

獅子ヶ鼻湿原を核に観光商品群の開発

～地域産業資源活用事業計画の認定～

象潟シーサイドホテルを運営する羽州観光開発が「地域産業資源活用事業計画」の認定を東北経済産業局・東北運輸局から受けました。これは昨年施行された中小企業地域資源活用促進法に基づき、鳥海山麓・獅子ヶ鼻湿原を活用した「癒しと学びのトレッキング観光プログラムの開発とブランドの確立」の5カ年計画に対して認定されたものです。ほぼ手つかずの自然を変わらない姿で後世に残すため、自然と共生する環境保全への取り組みも同計画の大きな柱となっています。

今後は宿泊型観光の需要販路の拡大を図りつつ、地域全体を見据えた観光産業の振興、活性化を目指します。



ブナの原生林に囲まれた獅子ヶ鼻湿原



認定書を受け取る阿部社長（右）

表彰等

奈曾川治山ダム堤名板標語

入選

「故郷守る 強い味方だ 治山ダム」
佐々木和彦さん（上郷小）



感謝状を受け取る佐々木さん（右）

※入選した標語は奈曾川の上流、治山ダムの堤名に刻まれています。

法務大臣感謝状

退職保護司

細田 文夫さん（岡の谷地1区）

須田 豊一さん（中橋町）

須藤 良一さん（松ヶ丘）

交通安全栄誉章

東北管区章 功労者

細矢 鉄郎さん（院内）

緑十字銅章 功労者

佐藤 吉樹さん（新町3区）

緑十字銅章 優良運転者

佐藤 吉晴さん（堺）

上村 和男さん（鳥の海1区）

佐藤 登喜子さん（石名坂）

佐藤 俊文さん（小砂川1区）

緑十字銅章 優良安全運転管理者

関 武さん（横根）